

令和8年度

博士前期課程

7月実施（推薦入学試験）

人文学学位プログラム 歴史・人類学サブプログラム

区分	出題意図または解答例
小論文	
問題 I	
〔1〕【英語】	<p>(1) 歴史学・人類学の研究手法に関する英語文献を的確に読解したうえで、その内容を簡潔かつ論理的に説明する能力を問う。</p> <p>(2) 上記文献の内容を批判的に検討したうえで、自身の考えを論理的な文章として表現する能力を問う。</p>
〔2〕【日本語】	<p>(一) 歴史学・人類学の研究手法に関する日本語文献を的確に読解したうえで、指定された論点の要旨を論理的に説明する能力を問う。</p> <p>(二) 上記文献の内容を踏まえたうえで、専門分野の知見に基づき、具体例を挙げて自身の考えを論理的な文章として表現する能力を問う。</p>
問題 II	
〔1〕【日本史学】	<p>〔英語〕</p> <p>(1) 出題文は、徳川中期における儒学（儒教）の拡大の前提となった文化史的、社会史的背景を記述したものである。出題の英文の内容を、固有の歴史用語も含めて的確に理解し、著者の議論に即して要約できる能力が求められる。</p> <p>(2) 出題文を踏まえ、各自が研究対象とする時代（古代～近代）における論点と関わらせて論述させる問題である。各自が専門とする時代について政治史に限らず文化史や思想史の領域の論点についても把握していることが求められる。</p> <p>〔日本語〕</p> <p>(一) 出題文は日本の近代国民国家形成期におけるメディアの役割を論じた文章である。日本語を母語としない者が大学院で日本史学を学ぶ際に避けて通ることのできない史料解釈が適切に行えるかどうかを問うものである。</p> <p>(二) 日本語の文章全体の内容を把握した上で、近代日本の集団・結社の歴史的展開を問う問題である。問題文の内容を的確に読み解く能力とともに、日本近代史についての基本的な理解が求められる。</p>

〔2〕【アッシリア学・エジプト学】	<p>(1) 歴史学における時代区分のあり方に関する英語文献を的確に読解したうえで論理的な文章として表現する能力を問う。</p> <p>(2) 上記文献の内容に対して専門的な知見を活かして批判的な検討を加えたうえで、自身の考えを論理的な文章として表現する能力を問う。</p>
〔3〕【歴史地理学】	<p>(1) 歴史地理学に関する英語の専門文献を的確に読解する能力を問う。</p> <p>(2) 歴史地理学に関する研究課題について、英語の専門文献の内容に関連づけて、論理的な文章として表現する能力を問う。</p>
〔4〕【先史学・考古学】	<p>(1) 考古学における交易・交換研究に関する知識にもとづいて専門分野の英語文献を読解し、論理的な文章として説明する能力を問う。</p> <p>(2) 考古学において、過去の社会における物資の「再分配」をどのように研究できるのか、先行研究に関する知識を問うとともに、それを総括的に説明する能力を問う。</p>
〔5〕【民俗学】	<p>(1) 民俗学に関する英語文献を的確に読解したうえで、その内容を論理的な文章として要約する能力を問う。</p> <p>(2) 英語文献の内容に対して批判的な検討を加え、具体的な事例とともに専門的な知見を活かしながら、自身の考えを論理的な文章として表現する能力を問う。</p>
〔6〕【文化人類学】	<p>〔英語〕〔日本語〕ともに、(1) 文化人類学に関する外国語文献を的確に読解したうえで論理的な文章として表現する能力を問う。</p> <p>(2) 外国語文献の内容に対して専門的な知見を活かして検討を加えたうえで、文化人類学の研究手法への理解に基づき自身の考えを論理的な文章として表現する能力を問う。</p>

以上